

小学校における一枚ポートフォリオ評価(OPPA)論を活用した校内研修

教育実践力高度化コース

16AD003

榎本 充孝

【指導教員】 磯田 三津子 河野 秀樹 中島 雅子

【キーワード】 OPPIA 論 研修組織 研究授業 研究協議

1. 研究目的

本研究では、筆者の勤務校(埼玉県内の小学校、以下、勤務校と称す)の校内研修の問題点について、一枚ポートフォリオ評価(One Page Portfolio Assessment : OPPIA、以下 OPPIA と表記)論を活用して解決を図り、その効果の検証を行うことを目的とする。その理由は以下の通りである。

教師としての資質・能力の育成において、校内研修の充実が必要不可欠である。しかし勤務校では、教育課題の増加や授業時数の増加等の影響により、校内研修の時間を十分に確保できないといった量的な問題と同時に、校内研修の内容すなわち質そのものもつ問題も明らかになっている。それは主に次の通りである。

第一に組織構成の問題である。研修は一人ひとりの取り組みが重要であることは勿論だが、校内研修は校内の多くの教員によって組織的に運営されるものである。ゆえに校内研修組織全体をどのように運営するかは校内研修充実の大きなポイントとなる。

第二に各教科等の指定の問題である。日本の小学校の校内研修では、特定の研修教科等を学校で一つあるいは複数指定する場合が多い。しかし校内には指定された研修教科等の授業を担当しない教師もおり、その場合には教師の間に意識の面でも実務の面でも差が生まれる。このようにならないためには、各教科等間を橋渡しするようなベースとなるものが必要だと考える。

第三に研究授業の問題である。校内研修では多くの場合、一年間に数名の教師が研究授業を行う。研究授業とは、一人の授業者が学習指導案を作成して授業を行い、他の教師はその学習指導案を手にしてその授業を参観するものである。この時、授業者と参観者には大きな差が生まれ、授業者は授業を作る中で力量形成を図るが、参観者はただ授業を見るだけの受け身の研修になってしまうので、教師によって偏りのない力量形成が必要だと考える。

第四に研究協議の問題である。研究協議は研究授業の後に行われるもので、研究授業について協議するものだが、それは授業者の労をねぎらったり、一回の授業の良し悪しを検討したりする場になりやすい。しかし理想的には教師がどのような意図をもって授業に臨んだか、子どもがどのように成長したか、授業を通してどのような変容が見られたのかといった長期的な視点に立った検討も必要である。

校内研修の改善については、すでに多くの実践がなされているが、その一つに OPPIA 論の活用がある。OPPIA 論とは、教

師のねらいとする授業の成果を、学習者が一枚の用紙(以下 OPP シートと記す)の中に授業前・中・後の学習履歴として記録し、その全体を学習者自身に自己評価させるものである¹⁾(図1)。

OPP シートは A3 サイズの 1 枚の用紙である。OPP シートは使用する教師の裁量で工夫することができるが、これまでの研究から OPP シートが学習者と教師にとって十分な効果を発揮するためには、①単元の学習前・後で記入する「本質的な問い」、②「学習履歴欄」における「本時の授業で一番大切だと思ったことを自覚させる質問」、③「最下段の欄」に記述する「この単元全体を通しての自己の変容を自覚させる質問」の三つが必須事項とされている²⁾。

2. 先行研究のまとめと本研究の位置づけ

OPPIA 論は日本において独自に開発された教育論である。OPPIA 論は、子ども一人ひとりの学習プロセスを示すポートフォリオの理念をふまえて、日本の多忙な現場においても、どのような教師でも使いやすい評価を目指して考案された³⁾。OPPIA 論の特徴⁴⁾は、次の二点である。第一に学習者に教育評価のもつ本質的価値を伝えられることである。この本質的価値とは、学習者自身が評価に関わることによって自分自身の成長や学ぶ意味、必然性、自己効力感を感得できることである。第二に教師の授業評価と改善に活用できることである。

OPPIA 論を活用した授業実践は理科に限らず他教科等⁵⁾でも、また小学校⁶⁾から大学⁷⁾までの教育現場で行われ、成果と課題が蓄積されてきた。特に小学校の理科における実践は多い⁸⁾。中島(2010)は、教科横断的な問いを本質的な問いとして設定した OPPIA 論を活用した高等学校化学の授業実践で、学ぶ意味、学び方に関する概念、学習への意欲、人生観についての変容が認められたことを報告している⁹⁾。

この OPPIA 論を活用した校内研修については、すでに小学校校での実践が報告されている¹⁰⁾¹¹⁾。しかしこれらの研究は両方とも国立大学法人附属小学校での実践であるため、これらをそのまま本校のような一般校に適用することは難しい。本研究では、これらの先行研究を踏まえ、OPPIA 論を本校の実態に応じて活用し、校内研修の改善とその効果について検証を行った。

【学習後】

月とは何ですか？

太陽の光が非対称に反射するから、
7月7日の月の海がある。
地球の大きさ

①単元の学習前後で記入する
「本質的な問い」

君は何が変わったかな？


月の形が変わることによって太陽の光を反射して月がきれいに見えるから、月の形が変わるとは今回の授業で初めて新しいことがあった。レベルアップだね！

おうちの人から

月の観察のため、□と一言は外に出て空を見上げました。その時間が私にとは楽しかった。しかし、今年の秋は雨が多かったのでインターネットで月の形は石も思いました。自分の目で見た日について記入する事にこだわって、形の变化の糸がのびるといいます。お天気はどうなること出来なくてね。

OPPシート

単元名
「月の形と太陽」



②「学習振り返欄」における「本時の授業で一番大切だと思うことを自覚させる質問」

【学習前】

月とは何ですか？

ものすごく大きい石？
いろいろな形をする。
夜になると光る。
地球の形を写している。

③「最下段の欄」に記述する
「この単元全体を通しての自己の変容を自覚させる質問」

【学習をふり返って】

学習前・中・後をふり返ってみて、何がわかりましたか？また、今回の学習を通してあなたはどのように変わりましたか？そのことについてあなたはどのように思いますか。感想でもかまいませんので、自由に書いてください。

| | | |
|---|---|---|
| <p>9月29日(金) No.1</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>いろいろ質問をされたけど、あまりおもしろなかった。これから観察のレポート分けていきます。</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> | <p>10月16日(月) No.2</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>月の観察レポートの準備ができて、月を見ることができて、月がきれいに見えるようになった。月がきれいに見えるようになった。</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> | <p>10月23日(日) No.3</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>月の観察レポートの準備ができて、月を見ることができて、月がきれいに見えるようになった。月がきれいに見えるようになった。</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> |
| <p>10月29日(金) No.6</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>太陽の光が非対称に反射するから、月の形が変わることによって太陽の光を反射して月がきれいに見えるから、月の形が変わるとは今回の授業で初めて新しいことがあった。レベルアップだね！</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> | <p>10月25日(水) No.5</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>月見の回で、月がきれいに見えるようになった。月がきれいに見えるようになった。</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> | <p>10月27日(月) No.4</p> <p>この授業で一番大切だったことを書きましょう。</p> <p>月見の回で、月がきれいに見えるようになった。月がきれいに見えるようになった。</p> <p>質問点や感想など何でもよいので自由に書いてください。</p> <p>月の観察を頑張りたい。</p> |

図1 OPPシートの例(児童A)

3. 四つの問題に対する解決方法とその結果

1. で示した四つの問題ごとに、以下に解決方法とその結果について示す。

3. 1. 組織構成の問題について

小学校の校内研修では、図2のような研修組織体制が一般的であり、本校もこれまでこのような体制をとってきた。それを改善したのが図3である。

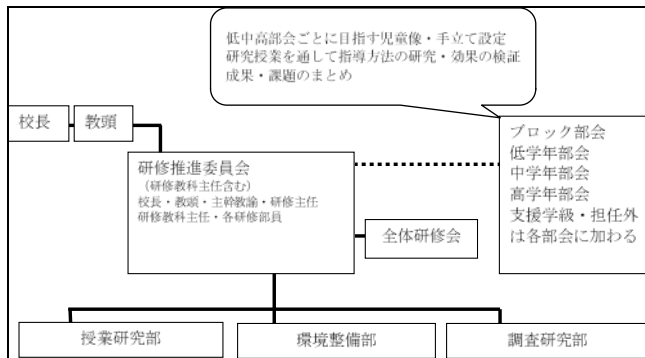


図2 以前の研修組織

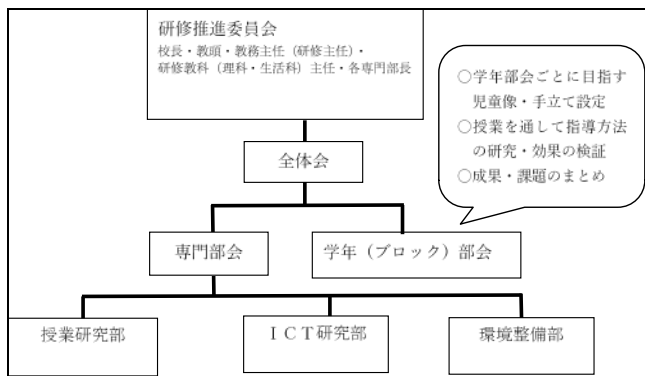


図3 新しい研修組織

校長、教頭は研修推進委員会の中に位置付けるなど全体を整理したが、最も大きな変更点は専門部会についてである。特に調査研究部をなくしてICT研究部にした。調査研究部は児童に対する各種調査やアンケートの実施を担っているが、児童の実態調査についてはOPPA論を活用する際に授業で用いるOPPシートで常に児童の実態を把握し続けることから廃止した。また、本校はこれまで6年以上にわたって県・市から理科の研究指定を受け、主にタブレットパソコンを教師と児童が使って思考力・判断力・表現力を高めることを目指してきた。これらの研究成果の蓄積を整理してさらに発展させていくためにICT研究部を創設した。環境整備部はこれまでパフォーマンステスト（実技試験）の実施や掲示物の作成などの校内環境整備を中心に行ってきたが、理科そのものの内容の研究、つまりパフォーマンステストの実施や掲示物の作成等も含め、理科そのものの教材研究を充実させる部として再整理した。最後に授業研究部については、指導案の形式の検討や予想・考察・問題作りの工夫や研究協議の運営を担ってきたが、今年度については新しく導入するOPPA論を活

用して授業をどのように作るかということに最も注力し、それを各学年等に普及させることに多くの時間を割くことにした。このように専門部会について、これまでのICTに関係する校内研修成果の整理・発展（ICT研究部）、理科・生活科を中心とした教材研究（環境整備部）、OPPA論の習得（授業研究部）といったように組織全体を再構成し、本校の実態に合った校内研修体制を整備した。

3. 2. 各教科等の指定の問題について

本校は理科（低学年は生活科）の研究指定を受けている関係で、校内研修の中心教科は理科・生活科である。校内にはこれらの教科を担当しない教師もいるため、教科・領域間を橋渡しするようなベースとなるものとしてOPPA論を位置づけた。理科・生活科を担当する教師はこれらの教科でOPPA論を活用した授業を実施した。理科・生活科を担当しない教師は、理科・生活科以外で自分が担当する教科から一教科を選んでOPPA論を活用した授業を実施した。その結果について以下に示す。

3. 2. 1. 理科

小学校5年生「人のたんじょう」の単元においてOPPシートを作成し、授業で活用した。図4の児童は、学習前には「お母さんががんばって産んでくれたから。」や「自分が生まれたことでいろいろな人がよこんでくれたから。」といったように、母への感謝や周囲の喜びなどを書いていた。学習途中の「学習履歴欄」（図5）では、科学的な知識の習得や学ぶことによる手応え（自己効力感）の感得が見られたが、学習後には学習前と同じような内容で記述量が半分程度に減少してしまった（図4）。しかし最後には「いままでたくさんの人ががんばって産んでくれた命だから、『死にたい』とか思わないようにしようと思った。また、友達や周りの人にもそう思わせないようにしようと思った。」と書いており、学習の深まりがうかがえた。

このように、胎児が母親のお腹の中で育って生まれてくるという科学的事実の正確な理解を中心としたこの授業を通して、「生命を尊重する態度」を育むことができたようである。このことは、次期学習指導要領で示されている「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成¹²⁾」にも有効である。

また、図4は一見すると理科の授業で使ったものではなく、道徳科や国語科で使ったものではないかと思える記述内容である。しかし、図5の学習履歴の欄を見れば分かる通り、毎回の授業では「この授業で一番大切だったことを書きましよう。」という問いかけに対して児童は回答する。教師はそれを見取って必要な指導と評価を加え続ける。このようなプロセスを通して児童は科学的な知識を習得し、それらの集合体として図4に示したような変容が起きたと考えられる。

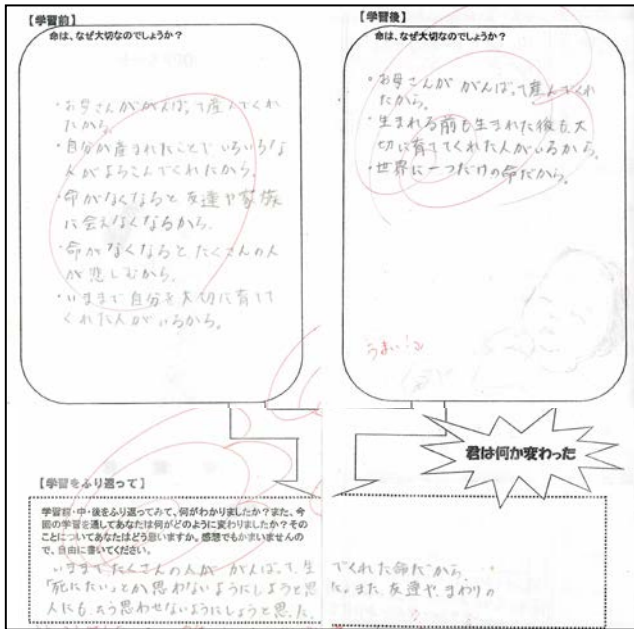


図4 OPPシートの例(児童B)

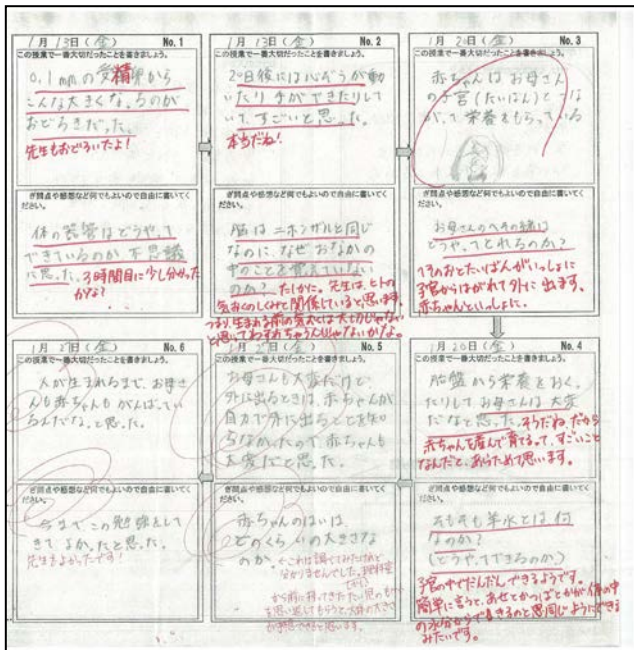


図5 OPPシートの例(児童B)

3. 2. 2. 生活科

小学校2年生「町たんけん」の単元においてOPPシートを作成し、授業で活用した。図6の児童は、学習前には学区内にある「八幡神社」について、「すてきなおまじりもできるし、七五三のころは人がいっぱいです。」と記述していたが、学習後には「いちばんびっくりしたことは700年前に作られたことです。みんなも行ってみてください。」と記述している。「学習をふりかえって」ではこの八幡神社の歴史を知ったことで自分の認識が変わったことを記述しており、その変容は保護者にも伝わっている。

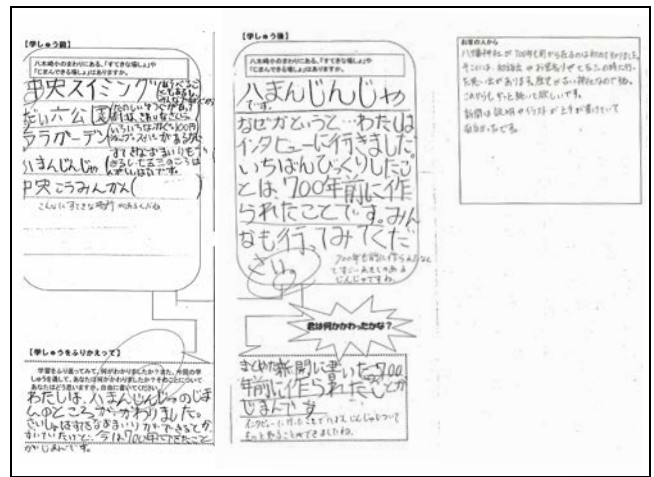


図6 OPPシートの例(児童C)

3. 2. 3. 算数科

小学校6年生「拡大図と縮図」の単元においてOPPシートを作成し、授業で活用した。図7の児童は、学習前には「形が同じ」ということについて、「等しい」、「辺、角の長さ、大きさが一緒」、「合同」といったキーワードを使いながら、「形が同じ」とは、「まったく同じ形」のことだと記述している。学習後には、「辺の長さが同じ割合で、大きくなっていること」、「角度は変わらない」、「2倍、1/2倍しても、辺の長さが同じ割合で大きくなっていたら、形が同じという。」と記述しており、「形が同じ」という概念に関する変容がみられる。

学習後の振り返りでは、「ぴったり重なるのが『同じ』だと思っていたけれど、同じ割合で大きくなっているものも、同じというのだあ〜！と思った。そして形が同じものは角度も変わらないことを知った。」と記述している。このことから、「形が同じ」とはどういうことなのか、授業を通して考える中で、「合同」と「拡大」のちがいについての理解を深めることができたものと考えられる。



図7 OPPシートの例(児童D)

3. 2. 4. 音楽科

小学校5年生「詩と音楽を味わおう」の単元においてOPPシートを作成し、授業で活用した。図8の児童は、学習前には「日本の歌のよさはどんなところか」という問いに対して、学習前は、美しい、ゆっくり、和風などと漠然とした記述がほとんどだったが、毎回シートに自分の考えを書くことで、より具体的に日本音楽のよさを記述できるようになった。

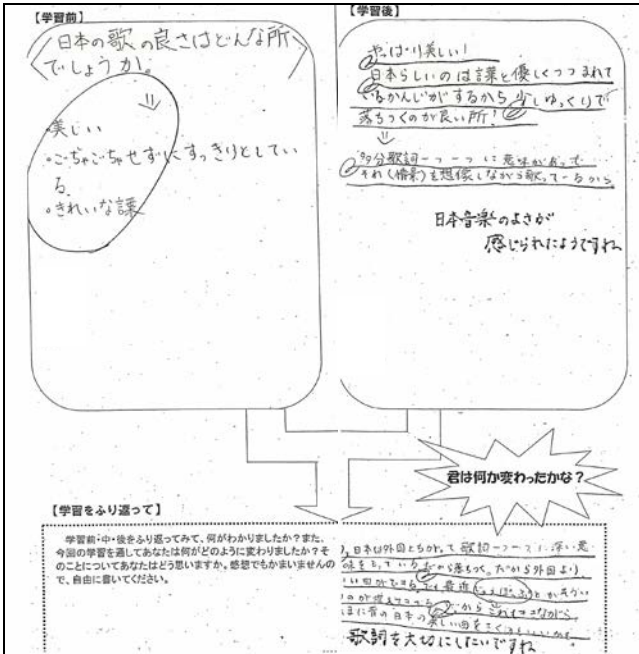


図8 OPPシートの例(児童E)

3. 2. 5. 生活単元学習

特別支援学級「サツマイモをおいしくたべよう」の単元においてOPPシートを作成し、授業で活用した。授業では振り返りの際の話し合いでその日の大切なことを確認し、本人の思いに沿った言葉を伝えた上で保護者に感想を書いたところ、「自分たちで育てたものを使うと、買ったものを使うのとはまた違った味がしたと思います。」と、本人の気持ちに寄り添ったコメントが返ってきた(図9)。普段、本人からなかなか伝えることのできなかつた生活単元の学習の意図や流れを保護者が知り、家庭の話題にしたり、児童に声かけをしてもらったりして、本人の達成感が高まったようである。



図9 OPPシートの例(児童F)

3. 3. 研究授業の問題について

本研修では、一年間に数名の教師が研究授業を行うという形式はとらず、教師一人ひとりがOPPA論を活用して行った授業について図10のような授業実践記録を残すという形式をとった。授業実践記録には実際の授業の中で特徴的だった児童3名のOPPシートが添付されており、授業実践記録はこの3枚のOPPシートをもとに作成されている。

この方法では、OPPA論を活用して授業を行った教師全員が、自分の授業について児童の学びの足跡を通して振り返ることになる。そのため校内の一部の教師が学習指導案を作成して研究授業を行い、その他の教師は学習指導案を作成しないで研究授業も行わないといった不均衡は解消され、全員参加型の校内研修が実現できた。

また、学習指導案には基本的にいわゆるPDCAサイクルのうちのP(Plan、授業の計画)の部分しか記載されないため、D(Do、実際にどのような授業を行ったのか)、C(Check、行った授業のねらいはどの程度達成されたのか)、A(Action、授業の結果を受けてどのような改善を図るか)といったDCAの部分について検討することは難しい。しかし、OPPシートには授業の計画だけでなく授業の結果まで残るので、PだけでなくDCAの部分まで検討することができる。教師が児童の学びの足跡を通して自らの授業を振り返り、児童に対してどのような働きかけができるかといった検討が具体的に日常的に可能である。

| 授業実践記録 | |
|---------------|--|
| 5年1組 榎本 充孝 | |
| 単元 | 人のたんじょう |
| 「本質的な問い」 | 命は、なぜ大切なのでしょうか？ |
| 「本質的な問い」の設定理由 | 小学校学習指導要領解説理科編 (pp.50-51) によると、本単元では、「動物の発生や成長について興味・関心をもって追究する活動を通して、動物の発生や成長について推論しながら追究する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生命を尊重する態度を育て、動物の発生や成長についての見方や考え方をもちつていくことができるようになること」がねらいである。このうち「生命を尊重する態度を育てる」ことに最も注目して、本単元の本質的な問いを、「命は、なぜ大切なのでしょうか？」に設定した。 |
| 成果 | ①毎回の授業を通して、ほとんど全ての児童が教師の指導目標に達したことを「この授業で一番大切だったこと」としてOPPシートに記述しており、授業を通して知識の定着を図ることができた。 ②児童Aは、本単元の学習を通して、「いままでたくさんの方ががんばって生んでくれた命だから、「死にたい」とか思わないようにしようと思った。また、友達やまわりの人にもそう思わせないようにしようと思った。」と考えるようになり、人間性の涵養が何えた。【児童AのOPPシート参照】 ③児童Bの第6回目の学習履歴の記述から、児童Bが将来助産師になりたいと考え、それゆえにこの学習を大切にしていたことが明らかになった。また、OPPシートを通して児童Bの思いや授業で学習したことは保護者に伝わり、保護者からは「児童Bのへその緒とお母さんのへその緒を二人で一緒に見ました。お母さんとおばあちゃんがつながっていたへその緒、お母さんと児童Bがつながっていたへその緒、命がだれかとつながっているということ、自分の命は自分だけのものではないということ、この勉強でよく学んでくれたようです。たくさん勉強して本当に助産師になったら、もっと多くの人に命の大切さを伝えられるようになって下さい。」というコメントが返ってきており、保護者との連携を通して更に子どもの学びが深まったことが明らかになった。【児童BのOPPシート参照】 |
| 課題 | 児童Cのように、自分の考えをなかなか記述できない児童もあり、個別指導が一層必要だった。しかし、最後の総括の評価では自分が「命の大事さを知ったような知らないような」と記述していることから、自分をメタ認知しようとはしている。今後も指導と支援を継続していきたい。【児童CのOPPシート参照】 |

図10 授業実践記録の例

3. 4. 研究協議の問題について

研究授業後に行われる研究協議では、最初に授業者反省と題して授業を行った教師が授業のねらいやその達成の程度、児童への働きかけや手立て等について振り返りを述べる場合が多い。しかし1回の授業であってもそれらを参観者に伝えることは容易ではない。

そこで使用したのが教師用 OPP シートである (図 1 1)。教師用 OPP シートは児童用 OPP シートと同様の項目で構成される。児童用 OPP シートとは別に作成することも可能だが、児童用 OPP シートをそのまま使用することも可能である。授業前の教師用 OPP シートには本質的な問いの設定理由や授業毎の指導目標等を記入しておく。授業を進める中では、本質的な問いに児童がどのように回答したか、学習履歴の欄に児童が何を書いたか、児童の実態を踏まえてどのような授業改善を適宜図るかといったことを記入する。授業を終えたら

授業全体を振り返ってどうだったのかを記入するもので、これ自体が教師の授業記録である。教師用 OPP シートは教師が自分のために作成するものなので、必ずしも文章の形式が整っていない、メモ書き程度のもので十分機能する。

教師用 OPP シートを見ると、その教師が一つの大きな単元を通して何を意図して授業を構成したのか、実際に授業した結果がどうだったのかといったことがよく分かる。研究協議の場で、教師用 OPP シートを使って授業者が反省を述べると、本時の授業が単元全体の中でどのように位置付けられているのか、本時に至るまでにどのような学習が積み重ねられてきたのか、本時を経て単元を通してどのような学習に向かっているのかといったことがよく分かり、それは本時の授業を理解することにも役立つ。

研究協議では実際に授業で使用した児童用 OPP シートも併用する。教師用 OPP シートを通して授業者の意図を理解し

Figure 1.1 displays six examples of Teacher OPP Sheets (No. 1 to No. 6) arranged in a grid. Each sheet contains handwritten notes, diagrams, and reflections on a lesson. The sheets are numbered and dated as follows:

- No. 1 (9月29日 金):** Discusses a lesson on the moon's phases. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の観察をやろうという記述が多い (前向きな回答)". A box contains the text: "月とは何かを考えて、学習の見通しをもつ".
- No. 2 (10月16日 月):** Discusses the moon's position and light reflection. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の形が夜に見えるのは、太陽と月の位置関係が夜に、太陽の光を反射している部分が見える". A diagram shows the sun, moon, and earth with labels for day and night.
- No. 3 (10月23日 月):** Discusses the moon's shape and light reflection. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の形が夜に見えるのは、太陽と月の位置関係が夜に、太陽の光を反射している部分が見える".
- No. 4 (10月23日 月):** Discusses the moon's shape and light reflection. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の形が夜に見えるのは、太陽と月の位置関係が夜に、太陽の光を反射している部分が見える".
- No. 5 (10月25日 水):** Discusses the moon's model and light reflection. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の形が夜に見えるのは、太陽と月の位置関係が夜に、太陽の光を反射している部分が見える".
- No. 6 (月 日):** Discusses the moon's model and light reflection. Notes include: "この授業で一番大切だったことを書きましょう。" and "月の形が夜に見えるのは、太陽と月の位置関係が夜に、太陽の光を反射している部分が見える".

図 1 1 教師用 OPP シートの例

た上で、児童用 OPP シートを見ると、単元や本時のねらいの達成の程度が把握できる。その上で児童への働きかけや手立て等の有効性について検討することができる。このようにすることで、研究協議が授業について具体的に議論できる場になるとともに、1 回の研究授業の良し悪しだけでなく単元を通じた児童の成長にまで検討する対象を広げることができるようになったと考える。

4. 成果と課題

3. で示した問題ごとに、以下に成果と課題を示す。

4. 1. 組織構成の問題について

校内研修組織について組織全体を整理した(図3)。特に専門部会に改善を加えて校内研修を推進した。ICT 研究部はこれまでの ICT に関する校内研修成果を整理し、プログラミング教育の試行といった新しい流れに対応する成果も生むことができた。今後はこれらを学年ごとに整理し、学年間の接続を考慮し、発達段階に応じた系統的な指導計画として校内の年間指導計画に位置付けていくことが課題である。具体的に本校では、次期学習指導要領への移行期間を迎えるのあたり、総合的な学習の時間の70時間を、外国語活動・外国語科で15時間、ICT(プログラミング教育を含む)で10時間、従来の総合的な学習の時間で45時間として再構成する予定である。授業研究部は OPPA 論を活用した授業の進め方の習得を図ることができたため、今後は学習指導案の形式や授業の手立てやみてもらうポイント、予想のさせ方、考察のさせ方、問題作りの工夫といった授業の具体についてさらに検討を進める。環境整備部は掲示物や展示物といった校内環境整備を進めることができたので、今後もこれを続けるとともに、授業の教材研究も含めた、広い意味での環境整備を進めていきたい。また、この校内研修組織についても改善を加え続けていく(図12)。OPPA 論を活用した PDCA サイクルを機能させ、児童の実態や本校の実態に応じた校内研修組織に改善していく。

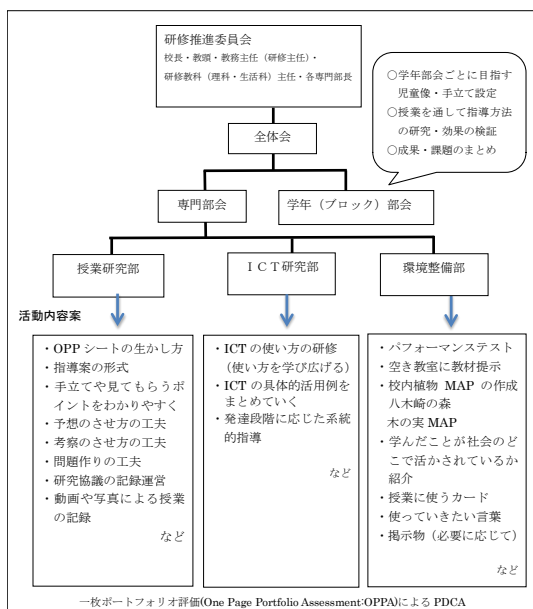


図12 OPPA 論による PDCA を活用した校内研修組織

4. 2. 各教科等の指定の問題について

教科・領域間の橋渡し役として導入した OPPA 論は、3. 2で示したように、その役目を十分に果たすことができた。これにより、校内研修の中心教科である理科・生活科とともに、それ以外の教科の授業研究も充実させることができた。今後は OPP シート等をもとに、授業の成果と課題を教師間で共有・協議していくことである。また、3. 2に示した以外の各教科等についても OPPA 論の導入を図っていきたい。

4. 3. 研究授業の問題について

本研修では、教師一人ひとりが OPPA 論を活用して行った授業について授業実践記録を残すことで、全員参加型の校内研修を実現した。また、教師が児童の学びの足跡を通して自らの授業を振り返り、児童に対して次にどのような働きかけができるかといった検討が具体的に日常的に可能になった。しかし今年度は OPPA 論の習得に重点を置くために研究授業・研究協議という授業研究を1回しか行わなかった。そのため、今後は OPPA 論を活用した研究授業・研究協議という授業研究スタイルを取り入れ、全校的な授業研究を実施し、その成果と課題を共有していきたい。

4. 4. 研究協議の問題について

研究協議では教師用 OPP シートと児童用 OPP シートを併用することで、教師の授業の意図を理解した上で、児童への働きかけや手立て等の有効性について具体的に検討することができた。また、教師用 OPP シートと児童用 OPP シートを併用することで、1 回の研究授業だけでなく、単元全体の授業を協議することができるようになった。しかし、今年度は 4. 3. にも関係するが、研究授業・研究協議という授業研究を1回しか行なっていない。そのため、このスタイルの研究授業・研究協議をこれから増やし、授業研究の充実を図ってきたい。

文献

- 堀 哲夫『教育評価の本質を問う 一枚ポートフォリオ評価 OPPA 一枚の用紙の可能性』pp. 20-21、東洋館出版社、2013.
- 中島雅子「『自己評価』による授業改善—小学校理科における OPPA を活用した事例を中心として—」『埼玉大学紀要 教育学部』66(1)、pp. 65-75、2017
- 堀 哲夫編『子供の学びを育む 一枚ポートフォリオ評価 理科』日本標準、2004 年、pp. 2-3
- 堀、前掲『教育評価の本質を問う 一枚ポートフォリオ評価 OPPA 一枚の用紙の可能性』pp. 171-183
- 谷戸聡子・中島雅子・堀 哲夫「OPPA を活用した高校英語の授業改善に関する研究—高校1年「関係詞」の単元を事例にして—」『教育実践学研究 第17号』山梨大学教育人間科学部附属教育実践研究指導センター、2012 年、pp. 34-44
- 堀 哲夫編『子供の成長が教師に見える 一枚ポートフォリオ評価 小学校編』日本標準、2006 年
- 堀 哲夫「学習履歴を中心とした大学の授業改善に関する研究—OPPA を中心にして—」『教育実践学研究 第17号』

- 山梨大学教育人間科学部附属教育実践研究指導センター、
2012年、pp. 34-44
- 8) 堀、前掲『子供の学びを育む 一枚ポートフォリオ評価 理科』
- 9) 中島雅子「科学的概念の形成過程を踏まえた学習者の目的観育成に関する研究—高等学校理科における OPPA による効果の検証を中心として—」『教育目標・評価学会紀要第 20 号』教育目標・評価学会、2010年、pp. 59-68
- 10) 堀、前掲『子供の成長が教師に見える 一枚ポートフォリオ評価 小学校編』
- 11) 中國昭彦・堀 哲夫「OPPA の汎用性に関する研究—附属小学校校内研究の推進を中心として—」『教育実践学研究 第 22 号』山梨大学教育人間科学部附属教育実践研究指導センター、2017年、pp. 125-141
- 12) 文部科学省『小学校学習指導要領』 p. 5、
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/05/12/1384661_4_2.pdf、2018/01/03 確認